

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月28日		記入者	内線	3812
部 名	消防本部	課 名	警防課	課長名	前田清治
事務事業名	常備消防活動事業（消防活動事業）				
予算上の事務事業名	常備消防活動費（消防活動費）				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
消防組織法、消防法等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 対策 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的（何のために行うのかまたはもたらしたい成果）				(2) 対象（誰、何）	
火災、各種災害等の災害に迅速・的確に対応する。また、そのために必要な資機材等の整備を図る。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。					
1 平成16年中の災害出場 (1) 火災出場 234件 (2) 各種災害出場（ガス漏洩、警戒、風水害等） 1,311件 2 消防活動用資機材の整備 (1) 消火用ホース 130本 (2) 危険物漏洩油処理剤 20袋 等					
6 関連・類似事業や他市の状況					
常備消防活動事業（救助活動）、水防活動事業、常備消防活動事業（救急活動）【救急対策課】					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	7,845	3,506	9,289	16,473	9,289
一般財源	6,630	2,829	7,389	13,160	7,389
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	1,215	677	1,900	3,313	1,900
人件費の合計	87,621	78,092	87,325	87,325	87,325
事業コスト合計(a)	95,466	81,598	96,614	103,798	96,614
8 事業効率・・・（複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業）					
主たる事業名	常備消防活動事業			対象名称 (単位)	火災・各災出場件数 (件)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	95,466	81,598	96,614	103,798	96,614
対象数	1,547	1,647	1,545	1,545	1,545
単位あたり経費(円)	61,710	49,543	62,533	67,183	62,533
前年度比		0.80	1.26	1.07	0.93

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
火災・各災出場件数（件）	火災と各種災害の出場件数				
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	1,487.0	2,124.0	1,545.0		
目標	1,487.0	2,124.0	1,545.0	1,545.0	1,545.0
目標達成度	1.00	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明				
火災の不延焼率（％）	不延焼火災／火災発生件数＊100 火災を延焼させない割合				
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	255.0	233.0	218.0		
目標	272.0	253.0	234.0	234.0	234.0
目標達成度	93.8	92.1	93.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]	：良好な状態を維持する事業		
	[	]	：概ね良好な状況である事業		
	[	]	：見直しを行う必要がある事業		
	[	]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業		
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		火災・各種災害出場件数の推移はほぼ横ばい状態であるが、引き続き、市民の生命・財産を保護するため、資機材の整備はもとより、災害出場体制や個人能力のより一層の充実を図る必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 消防事務の特性から民間を活用することは困難であるが、万全な災害対応体制の確立や組織の効率化・合理化の検討など、総体的に検討するため、消防力整備計画の見直しを図る。			14 課題として認識されたこと 今後、どのように組織の効率化・合理化を図っていくかが課題となる。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		消防力整備計画の見直しを図る。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			